

Peach が株式会社フリープラスへ出資

Peach Aviation株式会社(以下:Peach、代表取締役CEO:井上 慎一)は、2月6日付で、株式会社フリープラス(以下:FREEPLUS、代表取締役社長:須田 健太郎)へ出資しました。

Peachは、FREEPLUSの実施した約6億円の第三者割当増資により発行された株式を引き受けました。

このたびPeachが出資したFREEPLUSは、訪日外国人向けの旅行手配事業を主軸に事業を運営しており、同社はインターネット上での新たなサービス展開を積極的に実施しています。Peachは、政府の掲げる2020年に訪日外国人客4000万人、2030年までに6000万人への貢献をミッションとしており、そのミッションを実現するための取り組みの一つとして、新しい個人取引型(C2C型)の旅予約サイトのプラットフォーム「COTABI」を今春開設する予定です。FREEPLUSは今後、「COTABI」のシステム開発や運用のパートナーとしての役割を担います。さらに「COTABI」以外の事業においても、それぞれの特性を生かし幅広い分野で連携していくことで、新たな価値の創出を目指してまいります。

Peachは2017年より「価格競争から価値創造へ」をテーマに掲げており、「COTABI」はその価値創造を具現化するものの一つです。「COTABI」では、個人が旅行で利用した移動手段、宿泊施設、アクティビティや訪れた観光スポットなどを、個人が企画した旅のプランとして登録し、ユーザー間で共有することができます。同サイトを訪れたユーザーが、サイト内で自身の価値観やこだわりに基づいて旅を検索及び閲覧し、予約できるようシステム開発を進めています。

今回の出資に関して、Peach代表取締役CEOの井上慎一は、「Peachは、“空飛ぶ電車”のコンセプトのもと、航空会社の枠組みを超えたイノベティブな取り組みに数多くチャレンジして参りました。次のチャレンジとなる、C2C型の旅予約サイトのプラットフォームCOTABIはこれまでの旅のあり方に新たなイノベーションを呼び込むものになると期待しています。ともに大阪発祥の会社であるFREEPLUSと協力し、関西発のイノベーションで日本の旅を盛り上げてまいります」と述べました。

また、FREEPLUS代表取締役社長の須田健太郎は、「FREEPLUSは、日本の観光立国を成し遂げるべく、訪日旅行事業をはじめ、訪日観光における垂直統合を目指し、様々な取り組みにチャレンジしております。この度はPeachの出資により、FREEPLUSだけでは成し遂げることができなかった事業が実現できると感じております。Peachとともにシナジー効果を持続的に発揮し、日本の観光立国推進に貢献してまいります」と述べました。

PeachとFREEPLUSは、C2C型旅予約サイトのプラットフォーム「COTABI」を通じ、新しい旅のスタイルを創出し、日本を盛り上げてまいります。どうぞご期待ください。

<会社概要>

Peach Aviation株式会社

本社:大阪府泉南郡田尻町泉州空港中

資本金:7,515,050,000円

株主構成:

ANAHD 67%, ファーストイースタンアビエーションホールディングス 17.9%, 産業革新機構 15.1%

事業内容:航空運送事業(国内線・国際線)

従業員数:962名(2018年1月現在)

株式会社フリープラス

本社:大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪 タワーA 29F

資本金: 715,023,092円(資本準備金等を含む、本第三者割当増資実施後)

事業内容:訪日旅行事業、ホテルマネジメント事業、観光立国推進事業等

従業員数: 139名(2018年2月現在)

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014 年 7 月には那覇空港、2017 年 9 月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、20 機の機材で、国内線 14 路線、国際線 14 路線に就航し 1 日あたり最大約 100 便以上を運航するとともに、13,000 人以上のお客様にご利用いただいております。さらに、2018 年 3 月 1 日からは大阪(関西)ー新潟線、8 月 1 日からは大阪(関西)ー釧路線を就航させるほか、2018 年度内に新千歳空港を拠点空港とする予定です。

FREEPLUS について(www.freeplus.co.jp)

2010 年に訪日旅行事業に参入し 7 年、現在は 31 カ国 787 社の取引先から 31 万人以上の訪日客を受け入れてまいりました。直近決算の売上高は 37 億円でございます。今までにコンタクトしたことのある海外にある旅行会社は 3,200 社を超え、そのネットワークを生かして日本の観光立国を推進すべく地方自治体や企業に対してインバウンドに対する誘客や PR 支援も展開しております。

2017 年 4 月からは、大阪の下町である新今宮に FP HOTELS 難波南 をオープンしました。新今宮エリアは特に、海外からの旅行者にとって立地の良い場所として再注目されております。2018 年 10 月には同エリアに 2 棟目となる FP HOTELS Grand 難波南 を、2019 年 2 月には 3 棟目となる FP HOTELS 福岡博多キャナルシティ前(仮)をオープンする予定です。直近では、VR を製作する企業や国際チャーター便を手配する企業と資本・業務提携を結び従来のランドオペレーター業の枠に収まらない事業領域の拡大を図っております。訪日観光業における垂直統合を戦略と掲げ、今後も一層の成長ストーリーを描いております。